

大阪市議会

## 住民投票に大義なし

## 井上市議が都構想を追及

日本共産党の井上浩大阪  
市議は22日の市議会財政総  
務委員会で、大阪市を廃止  
・分割する「大阪都構想」

の設計図を協議する法定協  
議会設置議案について質疑  
し、「市民にとって百害あ  
つて一利なし、住民投票で  
2回も否決されているもの  
を蒸し返すのは断じて許さ  
ない」と主張し、反対を表  
明しました。

井上氏は提案された設置  
議案の規約案には前回まで  
の2回の規約には17回あつ  
た「特別区設置」の文言が  
2回しかなく、横山英幸市

質問する井上市議

22日、大阪市議会



長が「副首都」と特別区設  
置の両方をめざすとしてい  
ることに対し、「住民投票  
は大阪市を廃止するか否か  
に限定され、自動的に副首  
都にはならない」と指摘。

吉村知事が都構想は間違  
っていた、もうやらないと  
明言したことを指摘し、「2  
回の住民投票で公権力を使

つてばく大な税金、時間、  
労力が費やされて2回とも  
否決され、非常に重い決断  
を迫った。大阪市の財源・  
権限を市民生活に生かして  
ほしいというのが2回の住  
民投票の結果だ」とし「3  
度目の住民投票に大義はな  
い」と主張しました。

「東京都」は主権在君の  
戦時中に戦争遂行のために  
強力な行政機構を確立する  
必要から導入され、自治権  
が縮小された歴史を紹介。

「都構想は過去2回の民意  
を無視した主権在君の発想  
だ」と批判しました。